

2020

社会福祉法人健翔会 新年のご挨拶



令和2年(2020年)1月13日

理事長 渡辺 弘

健翔会本部

2019年の報告

2019年2月

理事会

平成31年度予算審議

平成30年度補正予算審議

2019年5月

監事監査

理事会 平成30年度決算

2019年6月

評議員会 平成30年度決算

新理事選任

2019年11月

理事会 中間報告

就業規則の変更

介護育児休暇の改正など

2020年の予定

2020年3月

理事会

2020年度予算審議

2019年度補正予算審議

健翔会働き方改革

就業規則、賃金規定など

2020年5月

監事監査

理事会 2019年度決算

2020年6月

評議員会

2019年度決算承認

2020年11月

理事会 中間報告



令和元年5月1日
令和記念式典で挨拶する理事長



2020年の成人を祝う会にて

障害のある子どもを立派に育て上げたご家族の苦勞に寄り添いの言葉を掛け、ご利用者本人に対しては、これからもご家族への感謝を忘れず、事業所ではいろいろチャレンジしてほしいと祝辞する理事長。

新年のスタートに当たり、ご利用者(児)の皆様、ご家族の皆様、そして役員の方々に年頭のご挨拶を申し上げます。

埼玉県行田市では穏やかな天候となった今年の元旦、私はゆっくりと自宅で過ごしました。元旦には群馬県をほぼ一周する実業団の「ニューイヤー駅伝」、2日、3日には「箱根駅伝」をテレビで観戦しました。令和初の第96回箱根駅伝は、青山学院大の強さを改めて感じました。東海大は例年なら間違いなく優勝です。しかし青山学院大が要所で東海大に追従を許さなかった。青山学院大は自分達のレースをしながら同時に東海大に流れを作らせませんでした。青山学

院大の駅伝の強さが際立ったレースだったように思います。また、東洋大は区間上位と下位の選手が区間ごとでばらけており、駅伝の流れを作ることができませんでした。

青山学院大の優勝タイム10時間45分23秒は大会記録を大幅に更新。一昔前だと考えられない記録です。

また話題はシューズ、ナイキのヴェイパーフライです。厚底のソールと反発するカーボンインナーで走力アップしています。

2019年(平成31年・令和元年)の地域・国内・世界の出来事



2019年の最も記憶に残るのはラグビーW杯です。桜の日本代表がベスト8に。隣市熊谷市が会場になったことでも身近でW杯が開かれ大いに盛り上がりました。「ONE TEAM」は流行語大賞になりました。

そして大きな時代の変化「令和」です。新元号としての「令和」の発表もさることながら、5/1の記念式典も150名を超える役員・ご利用者で盛大に開催されました。

もう一つは10月からの消費税10%です。現場では10年以上勤務している職員の年収アップに予算が回ってきました。その気持ちにありがとうと言いたいです。

児童虐待による死亡事件が起きました。「子どもは国の宝」私も同感です。なので、

国をあげて子どもたちを守ってあげたい。そんな気持ちです。そういえば、健翔会では子どもを育てる一人親応援制度があります。

新元号は「令和」ですの発表と前後して、2024年から発行される新紙幣に渋沢栄一が起用されることとなりました。日本の資本主義の父と称された偉人です。新しい渋沢栄一の1万円札早く見たいものですね。

高齢者ドライバーによる事故が相次ぎました。4月には池袋で母子が巻き込まれ死亡する痛ましい事故が起きました。安心して暮らせる便利な社会が高齢者による事故を引き起こしているとしたら残念な気持ちです。

10月の台風19号は行田市でも避難勧告発令となりました。障害者の避難はどうするのか。決して容易なことではありません。

世界に目を向けると、香港の高度な自治を守るデモが継続しています。自由な意思、活動は保証されるべきです。但し、自由には責任が問われます。

米中貿易戦争も過熱し続けています。国家間の地産地消？言いすぎでしょうか？



2019年12月
クリスマス会で挨拶する理事長

2019年(平成31年・令和元年)の健翔会を振り返る

2019年から読み取れることは2つ。一つは「ONE TEAM」でしょう。健翔会が一つになって、スクラムを組んで進んでいく、そんな気持ちを持っています。もう一つはダイナミックな変革です。平成から令和へ。変化はダイナミックほど良いです。但し、変化には目的、目標が必要です。

私たちは同じ目的や目標をもって働いています。私たちの目標は「障害のある人が地域で私たちと一緒に暮らせる社会」です。社会を作ることは容易なことではありませんが、障害者が地域で暮らすことはできそうですね。皆さんが「ONE TEAM」になり、目標達成に向けて活動してください。

今年の運動会にはにじいろの子どもたちと一緒に運動会をしたかったので、行田特別支援学校の体育館をお借りすることにしました。ところが予定していた10月には台風19号による洪水が発生、同体育館は避難所に指定され使用不能になりました。結果11月に順延し無事開催することができました。

このように、過去にとらわれず、新しいことへのチャレンジすることは、とても良いことです。にじいろの子どもたちと一緒にやりたいといった発想、考え方、実行力そのものが健翔会であり、また、私たちの大切なノウハウになっていきます。

職員の皆さんへの2020年(令和2年)のお願い

健翔会設立13年。マンネリが始まります。同じことを繰り返せば失敗は減りますが進歩がありません。川の流れるに例えると、私たちは川の中にいて常に前に進むことで流れに乗った状態です。足踏みすることは川の流れからみると後ろに下がっているように見えます。川はゆっくり流れいずれ海に出ます。留まることはありません。私たちも少しずつ前に進む必要があります。

障害者へのサービスは13年前の自立支援法施行以来どんどん変化しています。今では、高齢者と障害者を一緒に施設でサービスが提供できるようになりましたし、またグループホームを家と考え、昼間家にも良いようなサービスができました。変化するのは当たり前です。障害者のサービスが時代に合うように、川のように流れているからです。

特別養護老人ホームなど7か所を運営していた社会福祉法人が倒産しました。売り上げ規模13億円弱の巨大社会福祉法人でした。なぜ倒産したのか？いろいろ原因はあるようですが、ニュースでは①職員との問題、②サービスの悪化、これによる

売り上げ減、いわゆる利用者離れが発生し、年商が7割を切った9億円を下回ったことで倒産となりました。

社会福祉法人も倒産します。健翔会が倒産しないためにも次の3点をお願いします。

1つ目は、私は職員の皆さんの笑顔が見たいです。きっとご利用者もご家族も皆さんの笑顔が見たいはずで。私にできることは職場環境を整えることです。特に労務関係をしっかりさせます。なので、皆さんは笑顔を忘れずに働いてください。

2つ目は、サービスの向上を目指してください。職員の皆さんのスキルアップです。ご利用者、児童が元気に楽しく通えるようなサービスを提供してください。問題点や課題を整理して、次のステップに進めるような取り組みを実施してください。

3つ目は、チャレンジです。時代が流れているのに足踏みしてはいけません。時代の流れに合わせて進むためには、失敗を怖がらずにチャレンジする必要があります。

小さな波でも繰り返すことで地形を変えるほどの効果があります。皆さんの小さな行動で健翔会をこれからの形に変えてください。

おわりに

2020年はオリンピックイヤー。しかも東京オリンピック・パラリンピックです。オリンピックのような世界的イベントを身近に感じて、私たちも、ご利用者・児童がワクワクするような仕組み、仕掛けを考えていきましょう。失敗を怖がらずにいろいろやってみましょう。1年後には、健翔会の職員の笑顔が素敵、仕事が楽しそう！そんな声がたくさん聞こえてくることを期待しています。

今年も皆さんにとって良い年でありますように祈念し、年頭の挨拶といたします。

社会福祉法人健翔会

〒361-0007

埼玉県行田市小見 1141 番地 1

電話：048-554-8815

FAX: 048-554-8814

URL: <https://kenshokai.net>

ブログ: <https://www.facebook.com/kenshokainet>



2019年11月
埼玉県立行田特別支援学校
体育館で開催された運動会
優勝のにじいろの皆さんと一緒に



2020年1月 成人を祝う会

事業の紹介

障害福祉サービス事業

麦の穂

大地

障害児通所支援事業

にじいろ

障害児(者)生活サポート事業

生活サポート麦

障害児(者)日中一時支援事業

日中一時支援 大地

日中一時支援 にじいろ

収益事業

太陽光発電事業